

●靴も足も濡らさないように！

せっかくレインウエアで身体を守っても、靴は濡れてぐちゃぐちゃ、では意味が無い。

靴も乾きにくいので、濡れたままにしておくくと足を冷やし、それはそのまま体温の維持を妨げ、靴擦れやマメ、捻挫などのフットトラブルを引き起こす原因となるのだ。

濡れてしまった靴を会場で履き替えたり乾かすのは困難なので、できるだけ防水機能を持ったもの、できればこれもレインウエア等と同じ、ゴアテックス等の完全防水素材が使われているものを用意しておきたい。足首まで高さがあるものであれば雨水が中に入りこみにくいので、そういった観点からも履いていく靴を選択しよう。履きこんだ靴は買った当初よりも防水機能が落ちているものなので、そのチェックもお忘れなく。

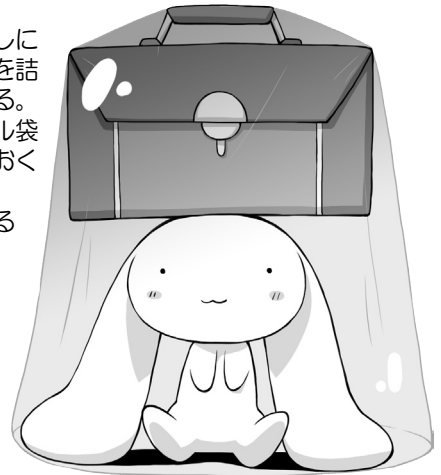
●もちろんバッグは絶対死守！

例え身体を雨から完璧に守っても、肝心の戦利品を濡らして台無しにしたら何の意味もない、と考える参加者は多いだろう。しかし中身を詰め込んだ大きなバッグはなかなか雨を防ぐのが難しいアイテムである。

かさばるものではないので、バッグ全体を覆える大きさのビニール袋（厚手のゴミ収集袋など）は1、2枚バッグのポケットに常備しておくとうまいだろう。

ただし、完全に雨が入り込まないようにバッグを外側から密閉するのは使い勝手の面でも技術面でも少々難しいので、レインカバーはあくまでも補助と考え、同人誌などの重要アイテムはバッグの中でビニール袋かプラスチックケースなどに収納して雨から守るのが基本だ。

余談だがB5サイズなどの書類用ブラケースはバッグの中で同人誌の角が折れたり表紙が汚れたりといった事態も防げるので雨対策に限らずオススメのサポートグッズだ。



●サークル参加者は要注意

雨の場合は宅配便の受付場所が屋内に変更になる。これが行われると、受付作業がスムーズに行われず、**毎回とんでもない時間がかかる**長蛇の列となる。

特に地方などから参加し、帰りの交通機関などの時間的制約があるサークル参加者は残念だが雨の場合は早過ぎるくらい早めに撤収準備に入るか、ある程度の時間で送れるだけの荷物を先に送る手配をしまい、残りは会場から手持ちで持ち出して駅周辺のコンビニ等から発送するといった自衛策を常に検討しておこう。

また、だらだらと僅かずつしか進まない長蛇の列に重いダンボール箱を持ったまま並ぶのは一種の拷問に等しい。何らかの運搬具を用意しておきたいところだが、せめて箱を支えるのが楽になり、手指の保護・防寒面でも有効なグローブ（ドットタイプの滑り止め付き軍手ではなく、掌と指面が全面ラバー引きになっているもの）だけは絶対に用意しておこう。

ちなみに、もしそういった事態に陥った時こそコミケット参加者の助け合い精神の見せどころだ。台車を持っている参加者は、積載量に余裕がある限り周囲で箱を手持ちして難儀している参加者に声をかけて、荷物を一緒に載せてあげてほしい。

●食べて飲んで、体力維持

夏以上に冬はエネルギーの消耗が激しい。動いていればもちろんのこと、動かずに待機している時でも体温を維持するためにエネルギーは使われていくので、元気を維持したままコミケットを戦い抜くためにはエネルギーを逐次補給する必要がある。冬のコミケットでは体温の維持と体力の維持はほぼ同じ意味を持つのだ。

朝食・昼食をきちんと摂ることは当然だが、それもどこかに腰を落ち着けてのんびり、という形でなくても構わない。歩きながらや行列に並びながらなど、ほんの数分でも良いので飲食の時間を確保しよう。一度に摂る量は少なくとも良いが1～2時間おきくらいに忘れずに食べることが大切なのだ。水分は喉の保護（風邪の予防）もかねて、喉が乾いた、と感じないように15～30分おきくらいに一口、二口づつこまめに飲むようにすればトイレの心配もない。

様々な栄養素を加えたビスケットバーやゼリー飲料、チョコバー等、行動しながらのエネルギー補給に適した飲食物は今時コンビニでも楽に手に入る。保存も効き、持っておいて損はないので、全員が用意しておき、的確な補給で最後まで元気に過ごしてほしい。